

■小論文(試験時間 90分)

出題テーマに基づき、こちらで準備した原稿用紙に小論文を作成。

I 期出題テーマ

[問1] 下記の新聞記事について、200字以内で要約して述べなさい。

高速バスで隣の席の若者が、2列シートに一つしかないコンセントを音楽プレイヤーで占有してしまった。充電残量の少ないスマートフォンの操作はあきらめた。

コンセントのある乗り物が増え、新幹線「N-800系」は窓側の座席横に備えている。いつも窓側の席を指定するのだが、窓側に座ったからといってコンセントを独占しているものか悩む。隣の人がコンセントを使いたい時にシェアできるよう、二股コンセントを持ち歩くようになった。

シェアビジネスが広がっている。日本では法による規制があるが、一般ドライバーによるライドシェア、宿泊を希望するゲストに空き部屋を提供するマッチングサービスなど、世界ではシェアリング・エコミーと呼ばれる事業が急速に拡大している。モノに限らず、知識や技術、時間もその対象だ。

着ない服や使わないアクセサリなどを個人がネットに上げて個人が買う。CtoC(消費者間取引)は、ファッション市場で無視できない規模になりつつある。BtoC(企業対消費者取引)が川上から川下へとタテに流れるのに対して、CtoCは消費者から消費者へとヨコに流れ、モノの所有は買い手に移っても、売り主には着用した体験が残る。CtoCの広がりの背景には、単なる不用品の売り買いではなく、着用体験のシェアという要因もある。

(織研新聞 <https://senken.co.jp/> 2017年10月2日付)

[問2] 以下のA. B. のどちらかの問題を選択し、1200字以内で述べなさい。

↓ A. B. のどちらか選択した方の太枠内に○を記入すること。

選択問題A.

ファッションビジネス業界の流通チャネルにおいてもオンラインでの売上比率が全般的に増加している。社会、市場及び消費者に将来的にどんな形になって、そのメリットとデメリットがでてくると予想するか答えなさい。

選択問題B.

越境ECがブームになってきているが、社会、市場及び消費者の視点で将来的なメリットとデメリットを予想して答えなさい。

## Ⅱ期出題テーマ

[問1] 下記の新聞記事について、200字以内で要約して述べなさい。

片側2車線の一般道を走行中、先行する自動車がクラクションを鳴らしながら左側車線によけている。すぐ前の車が左の車線に寄せると、目の前に対向車が現れた。中央分離帯に気付かず、反対車線に入り込んでしまったのだろう。運転席にいたのはやや年配の男性だ。それほどスピードを出していなかったため避けられたが、高速道路なら大事故になっていたかもしれない。

逆走に限らず、運転ミスや判断ミスによる高齢者の事故が大きく取り上げられ、自分の運転に不安を感じるようになった高齢者は多い。昨年、65歳以上で免許を返納した人は前年よりも20%以上多い32万7000人。

自分で車を運転できなくなると困るのが買い物。自治体によっては自主返納すると、バスや鉄道の回数券やタクシーの割引券を渡しているが、昨日まで車で好きな時間に買い物に行っていたのに、時刻表に合わせて行動しなければならないとなると不満もたまる。

百貨店や商業施設では、自宅への配送を無料にしたり、一定額を割り引いたり、返納者へのサービスを始めている。ただし、荷物は運んでもらえるが、自分の体は自分の足で運ばなければならない。自然と外出がおっくうになり、買い物に行かなくなる。車を運転できなくなった高齢者の足をどうやって満たすか。顧客満足の重要なテーマになった。  
(織研新聞 <https://senken.co.jp/> 2017年11月20日付)

[問2] ZARA、H&M、GAP、UNIQLO などのグローバルSPAと呼ばれる大手製造小売り企業の台頭により、**高級ファッションブランドを展開する企業**は今日までにどのような影響を受け、又その影響に対して将来に向けてさらにどのような対策が必要になるか、自らの考えを1200字以内で述べなさい。

## Ⅲ期出題テーマ

[問1] 下記の新聞記事について、200字以内で要約して述べなさい。

安倍晋三首相は施政方針演説の中で企業に対し「働き方改革」に取り組み、長時間労働を是正するよう求めた。電通の過労死事件をきっかけに、働き方改革が経営課題の一つになってきたが、実際改革は進んでいるのだろうか。

大手ハンバーガーチェーンの店長が「自分は労働基準法上の管理職ではないにもかかわらず長時間残業を強いられ、残業手当が支払われていない」と会社側を訴え、勝訴したのが10年前。ファッション業界でも「名ばかり店長・管理職」問題が注目を集めた。最近では自動車販売会社の店長が長時間労働が原因で自殺し、遺族が会社側に慰謝料などを求め和解が成立した。部下の残業を肩代わりするなど時間外労働が増えていたらしい。

「フレリーマン」という言葉が生まれている。会社から残業削減を求められた社員が、まっすぐ家に帰らず寄り道して時間をつぶしている。働き方改革で、長時間労働を生む労働環境が改善されるのではなく、中間管理職が部下の残業を肩代わりせざるを得ない“しわ寄せ”に至るのでは、解決にならない。

働き方改革は、誰の、何のための改革か。SNS(交流サイト)などを通じて情報が一気に拡散するのが今。利益のために社員を犠牲にする企業はすぐに「ブラック企業」のレッテルを貼られる。そうなると企業存続自体が危うくなる。  
(織研新聞 <https://senken.co.jp/> 2018年1月25日付)

[問2] 一般的に技術革新は我々の生活に便利さをもたらすが、同時にデメリットももたらす事がある。近年、AI (Artificial Intelligence: 人工知能) の進化が話題になっており、ファッションビジネスにおいても今後、色々な恩恵をもたらすと言われている。しかしながら、経営の観点からはデメリットの影響も予想しておく必要がある。デメリットとしてはどのような事が考えられるか1200字以内で述べなさい。